

東海ガスの地震対策

設備対策

地震に強い設備へ



耐震性に優れたポリエチレン管に入替

道路に埋設されているガス管は、地震発生時に損傷しないように耐震性の優れたポリエチレン管への更新を積極的に行っています。また、住宅内のガス管には柔軟性に優れたフレキシ管が採用されています。



耐震性の高いポリエチレン管



ポリエチレン管は従来のガス管に比べて柔軟性に優れ、不等沈下や地震に強い特性を持っています。

自動的にガスをストップさせるマイコンメーター普及率 100%

大規模地震が発生した場合には自動的にガスを遮断します。それによって火災発生防止に役立ちます。

- こういう時に：自動でガスを遮断します。
- ガスを使用中に震度5強以上の地震が起きたとき
 - ゴム管はずれなどで、大量のガスが流れたとき
 - 器具の消し忘れなどで、異常に長時間ガスを使用したとき
 - ガスの供給圧が低下したとき

被害状況を把握する地震計

地震計をたくさん設置することで、地震による揺れの大きさを地域ごとに把握します。現在は6箇所設置されていますが今後も増やす予定です。



供給監視システムによる常時監視

ガスの供給に必要な情報を24時間遠隔で監視しています。このシステムでガスの流れ・圧力等を管理しています。



供給監視システム

監視システムと通信網を『焼津』『藤枝』の二重化により信頼性の高いシステムへ

焼津の拠点が被災した場合でもシステムの機能を維持させるために、藤枝地区拠点でも監視ができるように改善しております。

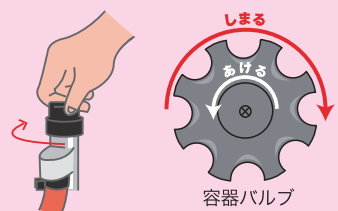
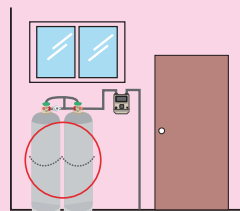
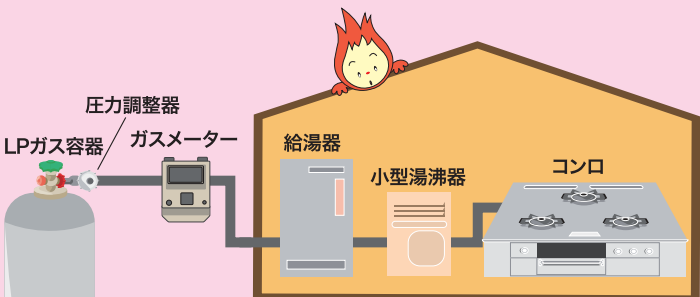
LPガスの流れ

LPガスは容器（ボンベ）を各家庭に設置していますので、配管が短く、バルブを開めることによってガス供給を止めることができます。

地震が発生したときは

- ガス栓、器具栓をすべて閉めてください。
 - 電気のブレーカーを落としてください。
 - 室内の火を、素早くすべて消してください。
 - 二次災害防止のため、揺れが大きいときは、おさまった後で屋外の容器バルブを閉めてください。
- 日頃からの心がけをお願いします

- LPガス容器がチェインなどしっかりと固定されています。ご確認ください。
- LPガス容器の周りに燃えやすいもの、落下物飛ばされやすいものは置かないようにしてください。



容器バルブ

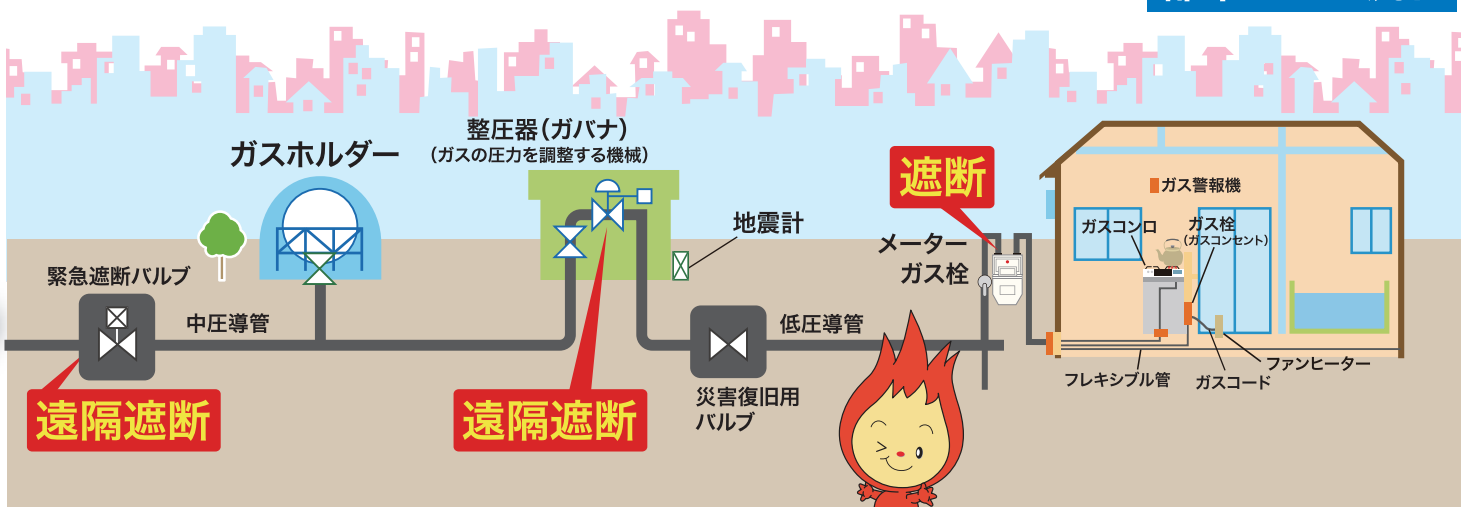
緊急対策

二次災害を防ぐために

大地震発生時はガスの供給を緊急遮断バルブでストップ

東海ガスでは二次災害を防ぐために、東海地震のような大規模な地震が起ると、ガスの供給を緊急遮断バルブでストップし、ガス漏れをできるだけ少なくする体制を整えています。

都市ガスの流れ



Check!

もしも、家族がバラバラになったら… 今こそ、家族で『防災会議』を



東日本大震災後、テレビやインターネットからはさまざまな情報があふれ、この震災をきっかけに、人生観、家族観、仕事観など、価値観が変化した方も多いのではないのでしょうか？なかでも、人と人とのつながり、その根幹となる『家族の絆』の大切さを、あらためて実感されている方が多いようです。

みなさんのお宅では、ご家族で過ごす時間、増えていますか？防災意識が高まるこの時期だからこそ、ご家族全員で『防災会議』を開いてみてはいかがでしょうか？

もしも、家族がバラバラになっているときに大地震が起きたら、勤務先や学校からどうやって自宅に帰ればいいのか？家族の役割確認、緊急時の集合場所、連絡方法などを話し合っておきましょう。

勤務先や学校から自宅までの徒歩訓練を行ったり、お子さんと一緒に自宅近くの避難所や病院などをチェックしながら、避難マップを作ることもおすすめします。

復旧対策

速やかなガス供給再開のために

災害時には、日本全国のがス事業者が応援します！非常事態が発生し、広い範囲でガスの供給がストップした場合は、日本全国のがス事業者から復旧の応援に駆けつけられることになっています。

ガスの復旧を効率的に行うための復旧ブロック整備

ガスの復旧は、都市ガスの場合、供給エリアを48ブロックに分割し、被害の少ないエリアより復旧します。このブロック管理やガス管の埋設位置などの復旧に必要な情報はマッピングシステムにより管理されています。



マッピングシステム

東日本大震災の発生により被災地における都市ガス復旧支援について
東海ガスからは6名の社員が復旧隊として被災地・仙台市へ派遣致しました。

昨年、3月11日、東日本大震災の発生により、都市ガス供給設備も多大な被害を受け、約46万戸で供給停止になりました。

当社においても4月7日より10日間、6名の社員を救援隊として派遣しました。ピーク時には、全国のがス事業者の社員約4000人が集まり、復旧作業が迅速に行われました



復旧救援隊より 救援活動に参加して



各家の状況を調査している復旧隊。道路に埋設したガス管の修繕や利用住宅の開栓などの復旧作業にあたりました。

本社／保管理室 大淵雅樹
開栓作業が終わり、長い間使えなかったコンロに灯るガスの火を見て、お客さまは「ほっとした表情になり、あとはもう感謝の言葉の連続で、逆にこちらがお礼を言いたくなってしまっただけでした。そういった言葉を聞くたびに、ガスを供給する側にいる者として、どんな場合であつても供給ストップでご不便をかける期間はあるだけ短くして、少しでも早くお客様にガスを送り届けることが、我々ガス会社に課せられた使命であることを改めて認識しました。

